

## サーキュラーエコノミー講演会の開催

【題名】 HALADA の資源セミナー 「CE のツボと盲点」

【日時】 2024年7月18日(木)13時30分から17時 on Zoom

【講師】 原田幸明 CEMVC 研究会 代表理事

【プログラム内容】 13:30- 17:00 「CE のツボと盲点」

1. サーキュラーエコノミーと経済活性
2. サーキュラーエコノミーとネイチャーポジティブ
3. サーキュラーエコノミーと物質循環
4. サーキュラーエコノミーと情報
5. サーキュラーエコノミーと well being

セッションごとに休憩を取り、休憩後質問をうけます。

スマホアンケートシステム(メンチメータ)を利用しますのでそれ質問も可能です。

### 【概要】

CE は「安価で容易に入手できる大量の材料とエネルギーに依存している直線的な経済モデルとしー線を描く生産と消費のモデル」(EU ホームページより)であり、大量リサイクル社会とは異質なモデルである。また、環境的価値、社会的価値、経済的価値の3つの価値の総合化により、社会・経済的豊かさと環境負荷のデカップリングを目指すともされている。しかし、CE の推進については世界的に、CE 推進の結果でしかないフローの改善に関する議論は多いが、目的である価値の増大の議論は不十分である。また、CE 先進国とみなされる国々では、ヒトと自然を対置させる特殊な自然感でヒトと自然の相互作用を論じるケースが多く、ネイチャーポジティブなどでの議論の幅が狭くなり、かつ循環を進言経済圏だけで議論してしまう傾向も出ている。このように、CE はまだ発展途上にあり、多くの盲点を残しながら進んでいる。また、CE の推進にあたって、多くのことが言われているが、本質的にどこを押さえればよいのかの議論が不十分で、推進形態であるリマンやリユースや、結果でしかないフロー改善が本質論抜きで語られ、リニアなりサイクル、リニアなりユースを再生産しかねない状況である。ここでは、CE をいくつかの視点から捉え、それぞれに存在する盲点を指摘するとともに、CE 推進のツボとは何かを提起する。具体的に、サーキュラーエコノミーをプログラム内容のような視点から斬ってみる。

【形式】ZOOM によるオンラインセミナー

【参加料金】 5000 円

【お申し込み】 下記 peatix から。

登録後 セミナー前に ZOOM のアクセス情報が送られます

<https://resource240718.peatix.com>

登録者には時差聴講可能な限定の youtube アドレスも送られます。

CE-MVC 研究会 会員等(会員 No.をお持ちの方)は無料

会員は、申し込み時に、会員 No.を必ず、ご記入下さい。

peatix の以下の各種チケットをお申込み下さい。

・CEMVC 会員 Zoom 参加チケット: 会員、特別会員、準特別会員(ここ1年講師をお願いした方) AnnualReport 購読者 : ¥無料 →お申込み後 Zoom 案内および時差聴講可能な限定の youtube アドレス送付

・非会員 Zoom 参加チケット ¥5,000.- →購入後 Zoom 時差聴講可能な限定の youtube アドレス案内送付

連絡先: サステイナビリティ技術設計機構 [office@susdi.org](mailto:office@susdi.org)

TEL,FAX 029-846-5505